

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アクティビティセンターあいの（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和6年9月5日		～ 令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和6年9月5日		～ 令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・自己選択や自己決定を促しながら、子ども達が主体的に活動に参加している	・調理実習では季節や場所（室内や室外かなど）によって自分たちで献立を決めている ・レクレーションでは内容やチーム分け、準備体操、進行なども子ども達が主体となり進めている	・個別、小集団、集団での活動に対し、目的や目標を明確にし、職員はもちろん子ども達とも共有し活動に取り組む ・子ども達が主体的に取り組みながら、他児や周囲の大人との関わりを増やし、場の状況やお友達の気持ちを察する事が出来るような場面を作っていく
2	・就労継続支援B型「ワークセンターあいの」との多機能事業であり、職業体験ができ、卒業後の働くことへのイメージがわく	・箱折り、ラベル通し、野菜の袋入れなどを職業体験として行っている ・日々の活動の中で「仕事をする大人」の姿を見ることができ、働く事をイメージすることが出来る	・働く事の大変さや収入を得る事の喜びなど実体験から感じ、経験出来る活動を取り入れる ・お金に関する管理や適切な金銭感覚がもてるようにソーシャルスキルトレーニングを取り入れていく
3	・必要に応じて個別での対応を行っている ・成長段階やライフスタイルに応じて個別の対応を行っている	・感情が不安定な時には個別の対応を行っている ・継続的に学校に通学出来ない児童には学校や保護者、関係機関と連携を図り支援を行っている ・送迎のみでなく、公共バスや電車を利用する児童に対してのお迎え対応を行っている ・職員間では支援後の振り返り、打ち合わせでは情報の共有が出来ている	・子ども達の日々の変化をしっかりと見極める事が出来るよう、児童の心と体の成長についても研修会に参加し、研鑽に努める ・学校や家庭と連携をはかり、子どもや保護者の意見を尊重し支援を行う

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族に対する支援プログラムや研修会、保護者会などの交流の機会が少ない	・年に1度、家族や地域を招待し運動会を行っているが、他に交流の機会が少ない ・マニュアルや非常時の対応など保護者へ周知・説明について不足があるように感じる	・年間を通し、保護者会などの計画を行う ・非常時の対応やマニュアルなども直接説明する機会を作り、SNSや通信を使用し、周知していく
2	・環境を有効活用したプログラムの提供が必要である ・活動スペースを有効に活用できていない	・プログラムを継続して実施出来ていない ・支援室と多目的室のみの使用となっており、相談室や多目的棟の活用が頻度が少ない ・子ども達が中高生が多く、部屋が狭く感じてしまう ・下校時間が遅いため活動内容が絞られてしまい、部屋の移動などを最小限で行ってしまいがちである	・多目的棟や相談室を活用し、事前にたてた計画をスムーズに実行出来るよう現在の打ち合わせのやり方を改善していく ・子ども達が自ら考え安心して行動出来るように活動スペースに関する視覚的に示していく ・活動内容に合わせ活動場所なども保護者へ発信していく
3	・地域で暮らす他の子どもとの交流がない	・市内の放課後等デイサービス事業所とは年に1回、運動会などで交流を行っている ・コロナ後は外出の機会が減っていたが、その後、以前ほどの外出の機会を設けられていない	・他事業所と交流や連携、体験イベントやボランティアなどにも積極的に参加し、地域交流を増やしていく ・年間行事計画に地域での行事をとり入れていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	アクティビティセンターあいの
------	----------------

公表日 令和6年11月1日

利用児童数

27

回収数

27

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	4	2	2	・子どもから場所が狭いときくので…	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1		2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	2	2	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	7				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25			2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	3				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	2		1		
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17	2	2	6			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1	1	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	3	1	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	27					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	5		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26			1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	6	3	4	・もう少し多くてもいいと思います	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1		1	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26			1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	3		2	・親がアナログなんで、すみません。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	1	2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1		2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	4		1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1		2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	2			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	3			
	29	事業所の支援に満足していますか。	27				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アクティビティセンターあいの		公表日		年	月	日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生が多い事から狭く感じる事もあるが、有効に使っていると思う。 ・多目的室や相談室等を使うことでスペースの確保が行えている。 ・利用できる範囲をオーバーする時は許可を得て使用している。 ・学習は多目的室で、ST訓練は相談室、OT訓練はフロアにて行うなど、工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動出来るスペースはほしい。 		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の入り口に段差があるため、転倒のリスクが高い利用者には十分注意を払っている。 ・足元を確認して移動しており、リハビリや筋力強化になっている。移動時はしっかり見守りを行うようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動時に段差やがある ・トイレへの移動中はB型の作業をしており、商品を破損しないか、走ってぶつからないか気になる事がある。 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・目的により活動場所をカーテンで仕切るなどし、活動に合った空間を作り取り組んでいる。 			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・QC活動や打ち合わせ等で振り返りを行っている。 			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・意向等の共有や把握は、より時間を取る必要があると思う。 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の打ち合わせにてきつきなど共有できている。 			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムは、現在、作成中である。 		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・共通理解のためにそれぞれの職員が声に出し、検討している。 			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5					

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・月ごとや長期休暇時など話し合いがあり、年間を通して担当職員が決められており、打ち合わせ時に計画や報告が伝えられている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			・打ち合わせが不十分な時もあり、そのときは支援に対し、職員の共通理解がなされていないときがある。そのような経験から打ち合わせや事前準備の大切さをお互いに共有することに繋がっている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		・翌日の打ち合わせ時に行っている。 ・送迎後や翌日に気づきや振り返りが話し合えている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			・記録の入力をスムーズに出来るための改善活動を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	1		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			・長期休暇中などは1日通しての活動であり、課題があるかないかでの活動の選択が出来るよう工夫した。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			・学校から下校時間のプリントを頂き情報を共有している。 ・下校時間の変更や学校行事に関しても学校・保護者から連絡がきている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		・就学前の保育所・幼稚園とは共有する機会は少ない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1		・運動会では他事業所の放デイの児童さんと共に楽しむ事ができ、良い機会だと思う。 ・一緒に活動ではないが、月に1回の読み聞かせに参加した際に一緒にいることがあり、その際は少しだが交流があることがある。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		・時々参加出来ないこともある	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・アクティの携帯がある事によって、ラインや電話等で状況を伝え合う事が多くなった。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		・最近では放デイから短期利用へと児童の成長によって支援が出来ているが、研修の機会は聞かない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・不登校の児童に関して家族からの相談、悩み事に対し助言と支援が出来ていると思う。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・毎月1回、アクティ通信を発行し、行事予定や活動の様子など発信出来ている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		・星のくまフェスタはご家族の方も参加頂き、児童の出し物や2人羽織など笑い声が多く聞かれ、大変良かった。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			・てんかん時の対処法を事務所に掲示し、常に見える化されたら新しい職員もわかりやすいと思う。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・家族、放デイ、厨房で共有し対応出来る。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・台風や積雪の際は、休業や時刻を遅くしたりと対応している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			

	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・今までにこのような状況はないので記載されていない。	
--	---	---	--	----------------------------	--